



富山市立速星小学校

学校だより

令和6年4月15日発行



E-mail hayahoshisho@city.toyama.lg.jp

ともに学び、ともに楽しむ

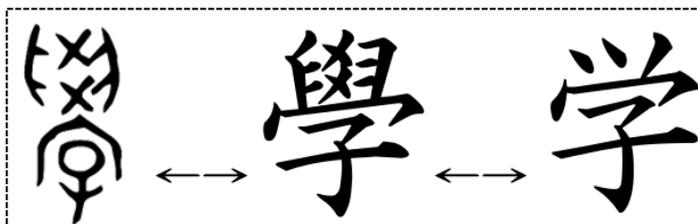
校長 新井 啓之

この春、速星小学校の校長を拝命しました、新井啓之です。教職員と子どもたちとともに、一步一步、着実に学校運営に勤しんでまいりたいと思っております。

私ごと、子どもたちと初めて出会う始業式の日、不安でいっぱいでしたが、朝、登校してきた子どもたちの元気なあいさつによって、心がすっと軽くなりました。教員生活を続けてきた中で、幾度も子どもたちに救われてきましたが、新たな学校でのスタートも、子どもたちに心を落ち着かせてもらうことができました。

始業式では、今年度のスタートということで、目指す学校の姿について「学校」の「学」という漢字を引用して子どもたちに伝えました。

「学」の旧字体は、「學」という漢字です。「學」の上の部分の形は、教師や大人たちが手を差し伸べていることを表し、下の部分の学び舎に集う子どもたちに学び教え、上に引き



上げるという説があるようです。教師が子どもたちに対して、主導的に知識を与えていたのが学校であると言えるのかもしれませんが。

しかし、私的な解釈になりますが、令和の時代は、「學」の上の部分の手を差し伸べているのは、教師だけではなく、友達やクラスの仲間であるのだろうと考えます。子ども同士が互いの良さを見つけ、互いに引き伸ばし、ともに学び合う、子どもたちが主体的に協働的に学ぶ、これからの学校、いわゆる「令和の日本型学校教育」の姿であり、速星小学校がそんなふう子ども同士でともに学び、ともに楽しむことができる学校になったらいいなあと思っています。と、伝えました。

様々な情報が飛び交い、多くのことが急速に進歩し変化していく時代において、令和の日本型学校教育は、自ら考え、判断し、実行する力を育てていくことを大切にしています。そのため、速星小学校では、教員自身も楽しみながら学習支援し、教え込むのではなく、子どもたちと一緒に考え、子どもたち自らが作り上げていく学習への転換を図っていこうと共通理解を進めています。基礎学力の定着だけではなく、子どもたち自身の疑問や好奇心から追及していく授業や、子どもたち自身が進んで課題を見つけ出し、友達同士で考えを出し合いながら解決していこうとする学び方を大切にしていきます。「令和の日本型学校教育」は、教員がこれまで経験してきていない授業改革です。

速星小学校教職員一同、そのような教育改革の波を受けながら、日々の学習や学校行事等、様々な活動において、子どもたちが楽しく取り組んでいけるよう精一杯尽力するとともに、これまで同様、学校と家庭、そして地域の皆様と連携しながら、子どもたちを育ててまいりたいと思います。

今年度も、速星小学校のチャレンジを見守りご支援いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。

《自家用車での送迎および校地内の駐車について》

子供たちの登下校や行事の際に、行政サービスセンターより、送迎や学校行事への参加のために職員駐車場へ駐車されるため困っているとの連絡を何度も受けております。自家用車での送迎および校地内の駐車につきまして、次のことをご確認くださいようお願いいたします。

- けがや病気、早退等によるお迎えについては、コミュニティプラザトイレ横の送迎用スペースを利用していただいで結構です。

《電話連絡についてのお願い》

- 学校への緊急連絡は、平日の夜6時以降（水曜日は夜5時以降）及び休日等には、緊急用携帯電話にお願いします。

携帯電話番号【080-6362-2640】

- 児童数が多い上、学校の電話回線は2回線しかありません。電話での相談は5分程度でお願いします。